



おらいだより

新宿区立落合第一小学校
学校だより 12月号 平成29年 11月 30日

気持ちのよい朝を

副校長 森 信行

11月24日と25日の両日に学芸会を行いました。

たくさんの方が参観してくださいました。25日の保護者鑑賞日だけで1080名、前日の児童鑑賞日にいらっしゃった方と合わせると、延べ1172人の方が来場してくださいました。

今回は場内で、「最前部のマット席」とカメラ席を上演中の学年の方にお譲りいただくよう、何度もアナウンスさせていただきました。多くの方々にご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、今月（11月）に報告書が公開された「平成29年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」が学校にも配布されました。その中には区市町村ごとの傾向が掲載されています。体力調査の傾向に関しては、体育の日等にメディアを通して大きく報道されましたが、私が注目したのは生活習慣調査の結果です。

まず、睡眠に対する調査です。新宿区全体の傾向を見ると、睡眠時間が6時間未満と答えた児童は、2年生から出現し始めます。就寝時刻に関しては、午前1時以降と答える児童が3年生から出現し始め、6年生では全体（8826人）の1%以上で存在します。

本校では保健だより等でも、1日の睡眠時間に関して「低学年は9時間、高学年でも8時間は確保しましょう」と呼びかけてきましたが、この調査の結果を見ると、4年生を境に「8時間の睡眠」は50%を割ってしまいます。また、スマートフォン等を2時間以上利用している割合が前年よりも5.7%→27.8%（小学生男子）、2.9%→19.7%（小学生女子）と著しく増加しています。長時間にわたる視神経への刺激は睡眠の質の低下も招く可能性があります。

よって、脳に疲労が蓄積され、脳がしっかりと活動しなくなってしまう、「学習能力や学力の低下」「記憶力が悪くなる」「授業に集中できない」「勉強のやる気が起きない」等の現象が起こり、睡眠の不足が学校生活にも大きく影響を及ぼすことが考えられます。

体力には運動のための体力と、病気等から防衛する体力があります。運動習慣とともに、睡眠や生活リズムについても様々な取り組みをしてみたいかがでしょうか。

スポーツに親しみ、自在に動ける体の獲得はとても魅力的な日常を私たちにもたらしてくれます。そのためにも、気持ちのよい朝を迎えられることが、とても大切であると感じました。

校内研究について

研究主任 福山 貴司

今年度の校内研究は、「互いを思いやり、よりよく人とのかかわる児童の育成」を研究主題に、道徳の授業を中心として研究に取り組んでいます。この研究は、本年度の教育目標の重点である「思いやりがあり、人と協力する子ども」を受けて、日々の道徳の授業はもちろん、学校における教育活動全体で児童の豊かな心を育むために始まりました。

まず道徳の授業については昨年度、本校に前文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の赤堀博行先生をお招きして、平成30年度の道徳の教科化（特別の教科 道徳となる）に向けて、授業において大切にすべきことをご講義頂きました。

今年度に入ってから、児童が授業を通して道徳的諸価値についてより多面的、多角的に考え、自分事として考えられるよう日々の授業研究を重ねてきました。各学年の研究授業も実施して、より効果的な指導の工夫を追究してきました。教員一人ひとりの授業力の向上を目指して、校内で道徳のミニ研修会を自主的に行い、研さんを積んでいます。また、11月末からは全校での「あいさつ運動」を実施し、体験からも児童の心を育むようにしていきます。

今年度の研究も半ばを過ぎました。研究テーマにもある「互いに思いやり」「よりよく人とのかかわる」児童の育成のため、頑張っていきます。

研究授業報告

3年担任 山本 晃司

3年1組は、11月1日（水）に「親切・思いやり」を内容として研究授業を行いました。授業の前半では、少年サッカーの試合でPKを外した相手の選手に歩み寄り何度も声をかけたキャプテンの思いや、味方のチーム全員が喜ぶ中で相手の選手に気付いたり相手の選手を気遣ったりすることの難しさなどについて、PKの場面の動画を見たり役割を決めて演じてみたりすることで思いやりについて考え、「相手の気持ちや立場を推し量り、親身になって考えようとする心情」に迫りました。児童からは、「自分のチームが負けていたらきっと悔しいから優しくしてあげたい。」と、親切について自分の考えを広げたり、深めたりする発言が出ました。

授業の後半では、相手のことを考えて何かしてあげた経験について話し合い、「お父さんががんばって洗濯物を畳んでいたから、大変そうだと思います。手伝ってあげた。」「妹が重い荷物を持って階段を上っていたから、転んだら危ないのと一緒に持ってあげた」など、親切について自分のこととしてとらえることのできた児童の姿が多く見られました。この授業を通して、少しでも相手の気持ちや立場を思いやり、進んで親切にすることについて考えられる児童が多くなってほしいと思っています。

生活指導主任 木 嶋 尚 美

ものを大切にしよう

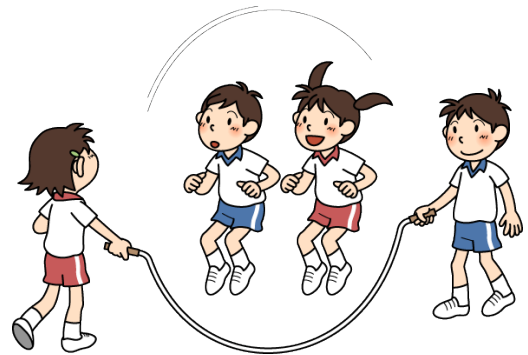
街にはイルミネーションが輝き、気忙しくも華やかな雰囲気
の12月を迎えます。年末年始は、ご家族揃って様々
な体験をするよい機会です。充実した冬休みになりますよ
うに、ご協力をお願い致します。

○家の仕事をしましょう。家族で分担を決め、やり遂げる
様子を見届けてください。大人と一緒に掃除をしたり買い
物をしたりして、たくさんの事を学んでほしいと思いま
す。

○年末の繁華街は、危険がいっぱいです。犯罪に巻き込ま
れることが無いように子どもだけで繁華街や商業施設に出
かけないようにしましょう。遅い時間は保護者同伴でも指
導されます。また、大人の時間に付き合っ夜更かしが続
くと、体調を崩してしまいます。十分な健康管理をお願
いします。

○食事中や寝床に入ってから、スマートフォンなどを手
放せないといった携帯依存症の子どもが増えていると言わ
れています。家族や友人との人間関係を損なったりインテ
ーネットでの事故に遭ったりしないためにも、携帯電話・
スマートフォン使用の約束を家族で十分に話し合っくだ
さい。

○最近、自転車による交通事故が増えています。日が短い
冬休み中は、夕方に起こる事故に注意が必要です。路地や
歩道・坂道での自転車の乗り方について、ご家庭でも確
認してください。



1 年生学年紹介

1 年 1 組担任 佐藤 幸子
2 組担任 青野 恵子
3 組担任 岩崎 真子

生活科の学習

4月に初々しい姿で落一小の校門をくぐった子供たち
も、小学校生活や学習活動にも慣れ、運動会や学芸会など
の大きな学校行事を経験し、たくましく成長しました。

1 年生は生活科の授業でさまざまな体験学習に取り組ん
で来ました。1 学期には2 年生に案内してもらい、学校を
探検しました。校内の様子に興味津々で、お気に入りの場
所をそれぞれ見付けることができました。朝顔の観察で
は、五感を使って種や葉を細かく観察したり、咲いた花で
色水を作ったりと楽しく学べました。

旬の野菜と触れ合った「とうもろこしの皮むき」や「枝
豆のさやもぎ」では、子供たちが匂いを嗅いだり葉っぱの
枚数を数えたりするなど、率先して新しい知識を獲得しよ
うとする姿が多く見られました。

2 学期にはおとめ山を二度訪れ、自然観察を行いました
。一度目は虫を探しながら、夏の草木の様子を観察しま
した。二度目はどんぐりや落ち葉を拾い集めながら、秋の
草木の様子を観察しました。子供たちは自然と触れ合いな
がら季節が移り変わっていく様子に気付き、感想をもつこ
とができました。

今後も具体的な体験活動を通して学んでいく生活科の学
習を大切に、たくさんの人とかかわりながら子供たちの
心の育成に取り組んでいきたいと考えています。

